



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 急傾斜事業】

事業名	砂防施設づくり事業
事業箇所	<small>さぎのみや</small> 鷺ノ宮 A L = 220m <small>せんばちょう</small> 佐野市 仙波町地先
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 砂防水資源課

# I 事業の概要

## 【目的】

急傾斜事業鷺ノ宮 A は、佐野市仙波町地先に位置するがけ高53m、勾配36度を有する急傾斜地である。

本事業箇所の被害想定区域には、人家11戸、県道仙波鍋山線、要配慮者利用施設がある。

区域内には不安定な斜面が存在し、豪雨等により斜面崩壊が発生するおそれがあることから、待受式擁壁及び土砂防止柵を整備し、崩壊土砂流出の抑止を図ることを目的としている。

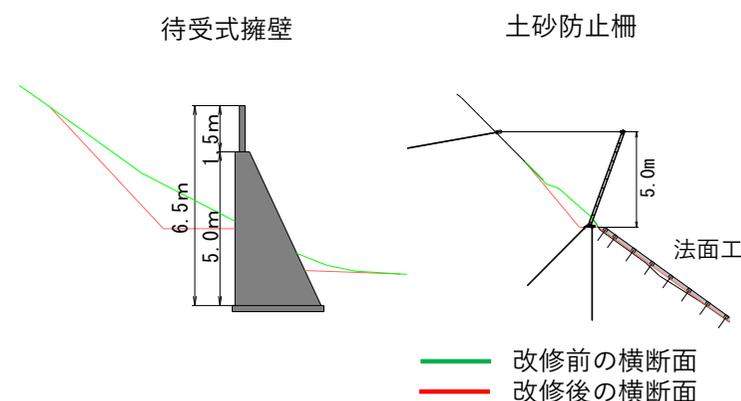
## 【現況】

目標事業期間 (変更前)	令和3年度～令和10年度 (令和3年度～令和7年度)									
事業経過	令和3年度 事業化 令和3年度 用地着手									
全体事業費 [うち用地補償費]	4.1 (3.0) 億円 [0.4 (0.4) 億円] ※ ( ) は前回計画時									
事業延長 [うち整備済延長]	L = 220m [L = 0m]									
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>費用</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既投資事業費</td> <td>0.2億円</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>[うち用地補償費]</td> <td>0.0億円</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		費用	進捗率	既投資事業費	0.2億円	5%	[うち用地補償費]	0.0億円	0%
	費用	進捗率								
既投資事業費	0.2億円	5%								
[うち用地補償費]	0.0億円	0%								

## 【事業概要図】



## 【標準横断図】



# 事業の概要

## 【箇所概要】



事業位置

**鷲ノ宮 A**  
 佐野市仙波町  
 R3~R10 (予定)  
 待受式擁壁 L=90m  
 土砂防止柵 L=130m

事業延長  
 L=220m

L=130m  
 ・土砂防止柵工  
 ・法面工

L=90m  
 ・待受式擁壁工

(至) 鍋山



佐野市

土砂災害警戒区域

要配慮者利用施設  
 グループホームあゆ

一級河川  
 仙波川

137

岩崎

(一) 仙波鍋山線

(一) 秋山葛生線

三騎神社

凡例	
事業箇所	
事業済箇所	

(至) 国道293号

## II 事業の評価

### 【今後の事業進捗の見込み】

- ・ 事業期間の見直し  
令和7年度 ⇒ 令和10年度
- ・ 総事業費の見直し  
3.0億円 ⇒ 4.1億円

### 【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R3年度)	今回計画
	事業費	3.0億円	⇒ 4.1億円 (+ 1.1億円)
内	工事費	2.6億円	⇒ 3.7億円 (+ 1.1億円)
訳	用地補償費	0.4億円	⇒ 0.4億円 (± 0.0億円)

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	8.0	32.2億円	4.0億円
(2)残事業	8.6	32.2億円	3.8億円

#### 2 事業の整備効果等

- ・ 鷲ノ宮Aの区域内には不安定な斜面が存在し、豪雨等により斜面崩壊が発生するおそれがあることから、待受式擁壁及び土砂防止柵を整備することで崩壊土砂流出の抑止を図り、人家11戸、県道仙波鍋山線、要配慮者利用施設への被害を防止する。

# II 事業の評価

## 【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

### 1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 5%
- 用地 0%
- 工事 0%

### 2 今後の事業進捗の見込み

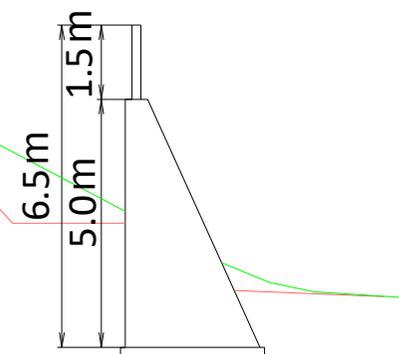
- 用地補償、工事を推進し、令和10年度を目標に事業完了を図る。

現地状況（整備前）

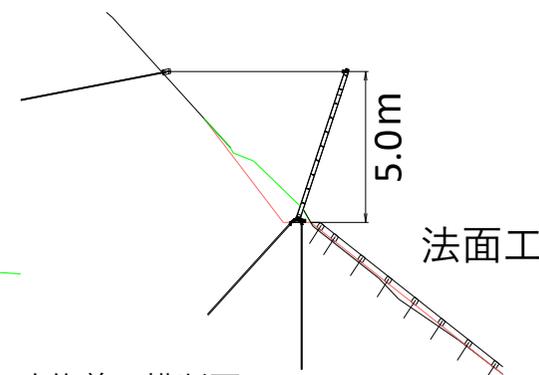


### 鷺ノ宮A（待受式擁壁及び土砂防止柵の整備）

待受式擁壁横断図



土砂防止柵横断図



— 改修前の横断面  
— 改修後の横断面

## 【コスト縮減等】

### 1 コスト縮減方策

- 他事業と調整し、建設発生土を工事間流用することでコストの縮減を図る。

### 2 代替案立案等の可能性

- 代替案となる切土工及び抑止工は、斜面が長大であることから施工範囲が膨大となる。
- 経済性や施工性を考慮すると、待受式擁壁工・土砂防止柵工・法面工による本計画が最適である。

## 【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。